

令和 7 年度
埼玉県中学校体育連盟
テニス専門部

団体戦監督マニュアル

埼玉県中学校体育連盟テニス専門部ホームページ

<https://www.saitama-jhs-tennis.com>

団体戦出場資格 (テニス専門部大会出場規程より抜粋)

- 心身共に健全で校長が出席を認めた生徒であること。ただし、新人大会については1・2年生に限る。
 - ルールに関する知識を持ち、審判・セルフジャッジができること。
 - 年度ごとに定められる、埼玉県中学校体育連盟テニス専門部服装と用具に関する細則に従うこと。
 - 校長が正規の部活動と認める継続的に活動する校内団体で、埼玉県中学校体育連盟に加盟していること。クラブチームの場合は県テニス協会にジュニア団体登録を行っている、かつ県中体連テニス専門部に届出を行い、参加を認められたチームとする。
 - 同一の団体に在籍する7名以上10名以下のチームで、複数校団体による合同チームは認めない。各対戦において同じ選手がシングルス、ダブルスの両方に出席することはできない。
 - 出場チームの引率・監督は、出場校の校長、教員あるいは部活動指導員とする。クラブチームの場合は所属長が責任をもって認めた20才以上成人のコーチ等とする。
- <クラブチームの大会参加について>
- クラブチームの認定は県中体連テニス専門部が行い、登録、登録料管理、認定証発行等は県中体連事務局が行う。また、団体戦に参加できるクラブチームは県テニス協会にジュニア団体登録をしてあるチームとする。
 - 参加クラブチーム間で予選を行い、1チームが学総県大会上位のチームと同レギュレーションで試合を行い、県専門部で結果をもとに協議し、関東中学への推薦チームを決定する。
 - 団体戦をクラブチームで出場し、個人戦を所属校名で出場することはできない。(巻末資料参照)

代表者会議前に必要な手続き (代表者会議の日程に余裕を持って行う)

- テニス専門部ホームページより次の2つのファイルをダウンロードし、以下のように手続きを行う。

参加申込書(Excel ファイル)

必要事項を入力・印刷の上、校長印を押印したものを各校の教員が代表者会議に持参する。

団体戦メンバー登録(Excel ファイル)

必要事項を入力の上、代表者会議前日までに大会ディレクターにメール添付にて送信する。

※ 参加申込書と団体戦メンバー登録の登録順に、ずれがないように注意すること

選手氏名および学年											
正式学校名	監督氏名	No. 1	年	No. 2	年	No. 3	年	No. 4	年	No. 5	年
学校略称(4文字以内)	主将氏名	No. 6	年	No. 7	年	No. 8	年	No. 9	年	No. 10	年

学総											

夏季強化											

新人											

今年度大会ディレクター

学校総合：開智未来中 長谷川先生 hasegawa@kaichimirai.ed.jp

新人：川口市立小谷場 重原先生 t.shigeyoshi.serpen@gmail.com

代表者会議

- 申込校の校長あるいは教員が準備した参加申込書を持参して代表者会議に出席する。
- 代表者会議での受付の際に参加費(1人500円)を徴収するので、申込人数(個人戦に参加する人数を除く)に応じた参加費を持参する。
- 大会要項に従って説明があるので、疑問等があれば質問・確認する。
- 前大会(中体連)の成績と参考になる大会をもとにシードを決定するので、意見があれば積極的に発言する。他は抽選をして決定するので、必要があれば抽選に参加する。
- 代表者会議後にケガ等により選手変更の必要がある場合は、団体戦選手変更届(テニス専門部ホームページからダウンロード可)を準備する。

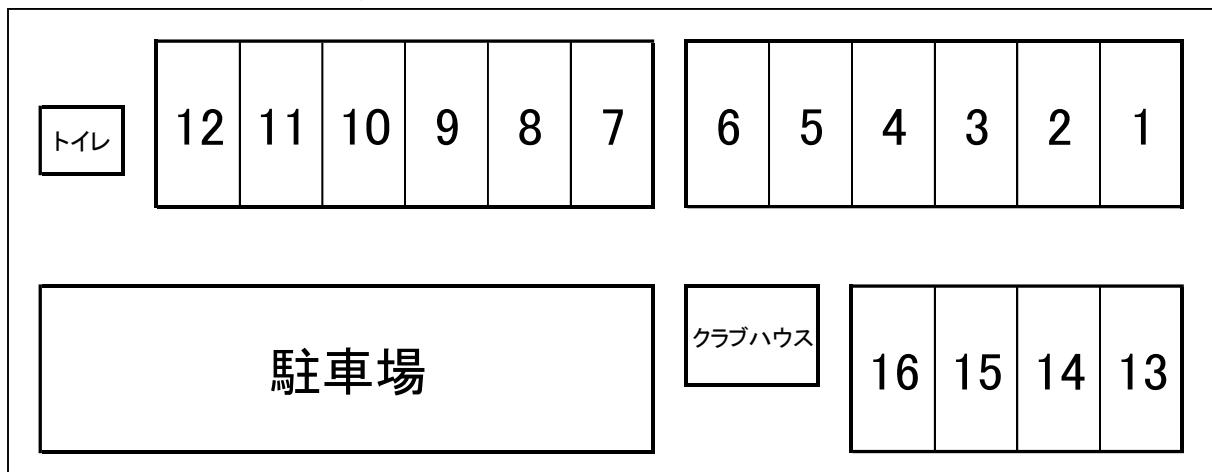
雨天判定

- ・雨天判定の結果は、6：15 以降にテニス専門部ホームページにて掲載されるので、各自で確認する。
- ・雨天中止の場合には延期となる。

集合

- ・「学総はダンロップ フォート、新人はヨネックス ツアープラチナムの2個入り 未開封缶 5缶」を忘れずに持参する。
- ・開門時間より前に会場に来ないこと。
- ・バスなどが路上待機すると交通渋滞の原因になるので気をつけること。
- ・会場に到着後、会場設営の手伝いが必要かを本部に確認する。

会場案内図(智光山公園)



※駐車場や通路等でボールを使った練習等を行わないこと

受付

- ・受付ではウェア・ラケットのチェックがあるので、試合時の状態になるようウェアや帽子等、ラケットの準備を選手に指示する。
- ・本部から受付開始の案内があったら、選手と共に本部で受付する。
- ・選手変更がある場合は事前に準備した変更届を提出する。
- ・受付時に本部から監督証やドローおよびメンバー表、団体戦オーダー用紙を受け取る。
- ・1回戦がある場合は団体戦オーダー用紙を速やかに記入し、開会式よりも前に提出する。

監督会議（受付終了後、開会式前に行う）

- ・本部から指示が出たら、ドローおよびメンバー表を持参して集合する。
- ・欠席による選手変更や、臨時の注意事項等の確認を行う。
- ・大会進行に関し、疑問等があれば確認する。

団体戦オーダー用紙の記入

団体戦オーダー用紙
(本部提出用)

()年度 大会名を○で囲んでください 学総大会 ・ 新人大会 該当する試合を○で囲んでください ()回戦 ・ QF(準々決勝) ・ SF(準決勝) ・ F(決勝)	
学校名(自校名を記入してください) ドローNO.() 中学校	
学校名(対戦校名を記入してください) ドローNO.() 中学校	
オーダー表(楷書でていねいにフルネームで記入してください)	
D2	登録順位 登録順位
D1	登録順位 登録順位
S3	登録順位
S2	登録順位
S1	登録順位

団体戦オーダー用紙
(交換用)

()年度 大会名を○で囲んでください 学総大会 ・ 新人大会 該当する試合を○で囲んでください ()回戦 ・ QF(準々決勝) ・ SF(準決勝) ・ F(決勝)	
学校名(自校名を記入してください) ドローNO.() 中学校	
学校名(対戦校名を記入してください) ドローNO.() 中学校	
オーダー表(楷書でていねいにフルネームで記入してください)	
D2	
D1	
S3	
S2	
S1	

※ 同じ選手がシングルスとダブルスの両方に出場することはできない

- ・団体戦オーダー用紙の記入は監督・選手のどちらでもよいが、不備がないか提出前に必ず監督が確認する。
- ・大会記録作成のために用紙左側の登録順位が必要になるので、本部から渡されたメンバー表を確認の上、間違えずに記入する。

※ 選手変更があった場合は欠席者の順位をつめて繰り上げ、変更者が末番になる。

団体戦オーダー用紙の提出

- ・団体戦オーダー用紙の提出は監督・選手のどちらでもよいが、本部にて左右の記入事項に違いかないか確認するので、切り離さずに提出する。
- ・本部での確認後、半分に切り離された右側の交換用を受け取る。
- ・進行表にてコートが指示されている場合は、速やかにコートに移動し試合を始める。

開会式

- ・本部から指示のあったコートに選手を整列させる。応援の生徒は集合コート周辺に静かに待機させる。
- ・天候等によっては、開会式を行わず、監督会議での伝達・確認のみとすることがある。

試合進行表（本部前に設置）

- 各対戦が行われるコートや開始時刻などが掲示されるので、監督またはキャプテンはこまめに確認すること。

試合進行

- ①コート番号の若いコートに整列後、相手を確認してからあいさつし、団体戦オーダー用紙を交換する。
- ②組み合わせ番号の若いチームのボールを使用する。お互いの学校から審判を出すこと。
組み合わせ番号の若いチームが D1、S3、S1 の主審を、相手チームが D2、S2 の主審を行う。
主審を出さない試合では、副審を行う。
- ③試合前の練習は、両サイドのサーブ 2 本とする。（計 4 本ずつ）
- ④一つの対戦をコート 1～5 面を使って行い、各チームの初戦は打ち切りなしとする。それ以降は 3 本先取で打ち切りとする。
- ⑤それぞれの試合（1 試合ずつ）が終わり次第、主審が本部へ結果を報告すること。

※本部への報告の仕方

（例）：「A 中対 B 中の試合、3 コート、ダブルス 2、6 対 3 で A 中の勝ちです。」

- ⑥団体戦の勝敗が決したら、チームはコートに集合しあいさつする。

勝ったチームが未開封缶 5 缶を持つように、必要があれば対戦チームと交換する。

- 勝ったチームのキャプテンは団体戦の結果を本部で確認し、すぐに次の試合に入るかどうかを確認する。すぐの場合は速やかに次戦の準備をする。

ベンチコーチ

- 監督証をつけた教員や登録された選手のみ、各試合につき 1 名認められる。
- ※ 外部コーチによるベンチコーチは一切認められない。
- ※ 同時に複数の教員がベンチコーチに入ることはできない。
- プレー中は審判台横のベンチに座り、立ったり声を出したりしてはいけない。
- ジャッジに関して審判に確認することはできるが、威圧的な態度をとってはならない。
- 奇数ゲーム終了後のエンドチェンジの際の休憩中（90 秒）にアドバイスをすることができる。
※ 第 1 ゲーム終了後にもアドバイスをすることができる。
※ タイブレーク中のエンドチェンジでは休憩およびアドバイスは認められない。
- 休憩中はベンチにて日傘等を使用することができる。

応援（声を出しての応援は認められているが以下のことに注意する）

- サーブを打つときやプレー中のコート内に声をかけてはならない。
- ベンチコーチ以外のアドバイスになる声掛けは一切認められない。
- 審判や選手に対し、ジャッジに関して声をかけてはならない。
- ダブルフォールト等、明らかな相手のミスに拍手等をしない。
- 対戦相手やチームを誹謗中傷するような言動は行わない。

本部（運営の妨げにならないように注意する）

- 結果報告のための審判や結果確認のためのキャプテン以外の生徒は本部に近寄らない。
- 監督証をつけた教員および本部役員のみが、本部にて詳細な対戦表を確認できる。

試合後

- 試合終了後は本部運営や会場片付けの必要があるかを確認する。
- ゴミは必ず各校で持ち帰ること。

困ったときは（各委員長の問い合わせ先）

専門委員長： 小井田 誠 （さいたま市立柏陽中） 048-798-6655 (勤務校)
副専門委員長： 長谷川 祥平 (開智未来中) 0280-61-2021 (勤務校)
副専門委員長： 重吉 拓海 (川口市立小谷場中) 048-267-1055 (勤務校)

北足立南部： 渡辺 達矢 (西武台新座中) 048-481-1701 (勤務校)
北足立北部： 伊藤 博基 (伊奈学園中) 048-729-2882 (勤務校)
入間： 石井 貴大 (星野学園中) 049-223-2888 (勤務校)
比企： 悉知 由紀夫 (大妻嵐山中) 0493-62-2281 (勤務校)
児玉： 貞包 功一郎 (本庄東附属中) 0495-27-6711 (勤務校)
大里： 小井田 誠 (さいたま市立柏陽中) 048-798-6655 (勤務校)
北埼玉： 木村 駿介 (加須市立加須東中) 0480-65-2206 (勤務校)
埼葛： 大川原 光 (越谷市立千間台中) 048-977-8778 (勤務校)
秩父： 小井田 誠 (さいたま市立柏陽中) 048-798-6655 (勤務校)
さいたま市： 小井田 誠 (さいたま市立柏陽中) 048-798-6655 (勤務校)

埼玉県中学校体育連盟テニス専門部

令和7年度 服装と用具に関する細則

埼玉県中学校体育連盟テニス専門部大会出場規程(3)による服装と用具に関する細則について、次のように定める。この細則は埼玉県中体連テニス大会に適用されるものであり、上位大会(関東中学・全国中学)では異なることがある。

ウェアについて

- (1) 出場選手は、清潔でプレーにふさわしいと認められたテニスウェアを着用しなければならない。
- (2) ウェアの適否は、レフェリーが最終判断をし、必要に応じて服装・用具の交換を指示する。
- (3) 男子のテニスウェアについて

シャツは半袖シャツを着用する。タンクトップタイプの着用は認めない。
ショーツは膝が隠れないものを着用する。
- (4) 女子のテニスウェアについて

シャツは半袖シャツかノースリーブシャツを着用する。タンクトップタイプやキャミソールタイプの着用は認めない。
スコートか膝が隠れないショーツを着用する。
ワンピースの着用を認めるが、タンクトップタイプやキャミソールタイプの着用は認めない。
- (5) 男女ともにシャツやショーツなどの下にコンプレッションウェアの着用を認める。
- (6) ウォームアップスuits、セーター、カーディガン、ベスト等の着用はウォームアップ時に限定し、これらを着て試合をしてはならない。
- (7) 天候などにより、レフェリーから特別な指示が出た場合は、その指示に従うこと。

シューズについて

- (1) 出場選手のみならずコート内に入るベンチコーチ、審判、ボールパーソンなどは、コート面を傷めたり、汚したりするおそれのない、テニス専用シューズを履かなければならない。

アイウェア(眼鏡等)について

- (1) 明るい場所において、レンズ越しに目が見える色付きレンズは可とする。
- (2) ミラー加工が施してあるものは不可とする。
- (3) 身体的理由でレンズ越しに目が見えないものを着用する場合は、医師の診断書をレフェリーに提出して許可をもらう。

学校名や個人名の表示について

- (1) 学校名については団体戦・個人戦ともに、大きさ 19.5 cm^2 以内でテニスウェアの片方の袖にのみ表示することができる。
- (2) 個人名については団体戦・個人戦ともに、テニスウェアについては一切認めない。

ロゴマークについて

- (1) 学校名以外のコマーシャルロゴは一切認めない。
- (2) 製造業者ロゴについては、「JTA TENNIS RULE BOOK 2025」に準じ、詳細については以下のロゴマークに関する注意事項を確認すること。

ロゴマークに関する注意事項

<p>試合中の選手の服装および用具におけるロゴの大きさと数は以下の通りとする。 ウェアを裏返したり、ロゴに粘着テープを貼ったりしたものは、不適切なウェアとして着用できない。</p>		
シャツ	<p>男子</p> <p>両方の袖それぞれに 39 cm^2 以内の製造業者ロゴを 2 つ。 文字のない製造業者ロゴは 77.5 cm^2 以内で 1 つでも複数繰り返しでも袖またはわきの縫い目のどちらかに付けてよい。 前身頃または襟に 39 cm^2 以内の製造業者ロゴを 2 つ。 前身頃と襟に 1 つだけの場合は、後ろ身頃に 26 cm^2 以内の製造業者ロゴを 1 つ付け加えてよい。そのロゴには文字も許される。</p>	<p>女子</p> <p>両方の袖それぞれに 26 cm^2 以内の製造業者ロゴを 1 つ。 文字のない製造業者ロゴは 77.5 cm^2 以内で 1 つでも複数繰り返しでも袖またはわきの縫い目のどちらかに付けてよい。 前後の身頃と襟に 13 cm^2 以内の製造業者ロゴを 2 つまたは 26 cm^2 以内の製造業者ロゴを 1 つ。文字を入れてもよい。</p>
ショーツ スコート パンツ	<p>13 cm^2 以内の製造業者ロゴを前後どこにでも 2 つ、または 26 cm^2 以内の製造業者ロゴを前に 1 つと後ろに 1 つ。文字を入れてもよい。 コンプレッションショーツ・スリーブには 13 cm^2 以内の製造業者ロゴを 2 つ、または 26 cm^2 以内を 1 つ。</p>	<p>13 cm^2 以内の製造業者ロゴを前後どこにでも 2 つ、または 26 cm^2 以内の製造業者ロゴを 1 つ。文字を入れてもよい。 レギンスおよびコンプレッションショーツには 13 cm^2 以内の製造業者ロゴを 1 つ。</p>
ワンピース		<p>ウェストから上部はシャツ、下部はスコートと見なす。 袖なしシャツの前身頃と襟に 13 cm^2 以内の製造業者ロゴを 2 つまたは 26 cm^2 以内の製造業者ロゴを 1 つ。文字を入れてもよい。</p>
ソックス シューズ	製造業者ロゴの大きさと数に制限はない。	数に制限はないが、ソックスの製造者ロゴの大きさは 13 cm^2 以内。文字を入れてもよい。
ラケット	ストリング(ガット)へのステンシルマークは不可。	
帽子 ヘッドバンド リストバンド	26 cm^2 以内の製造業者ロゴを 1 つ。	19.5 cm^2 以内の製造業者ロゴを 1 つ。

テニスウェア例

着用できるウェア



襟付きゲームシャツ



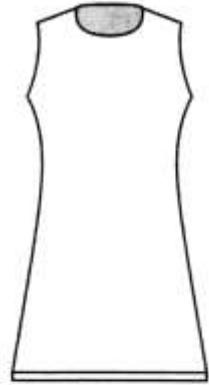
スタンドカラー（立ち襟）ゲームシャツ



女子のみ
ノースリーブ
ゲームシャツ



襟なしゲームシャツ（Tシャツ不可）

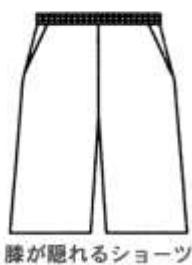


女子のみ
ワンピース（襟なし）
ゲームウェア

ショーツ

スコート

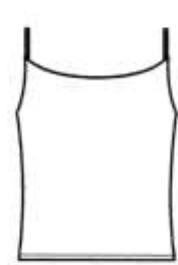
着用できないウェア



膝が隠れるショーツ



タンクトップタイプ



キャミソールタイプ



男子のみ
ノースリーブ
ゲームシャツ



肩や背中が大きく
カットされている
ワンピースなど